

勝浦市地区 水産物流通機能高度化対策事業の概要
～豊かな漁場と首都圏に近い優位性を活かした地域づくり～

1. 趣旨

地域の水揚げ物を勝浦漁港に集約して市場取引を活性化するとともに、勝浦漁港の漁港関連施設を整備することにより、これまでのカツオ一本釣漁業に加えて、沿岸マグロはえ縄漁業や地元沿岸漁業の流通拠点漁港としての機能強化を図る。

また、既にブランドとなっているカツオに加えてマグロやキンメダイなどのブランド化に取り組み、水揚げ物の付加価値向上を図るとともに、漁業と観光が調和した地域づくりを推進する。

2. 事業概要

- 地区内の8市場を統合し、市場機能の集約による効率化・合理化を図るため、勝浦漁港に衛生管理型の荷さばき所を整備する。
- 勝浦漁港に水揚げされる水産物の鮮度保持や価格維持機能の強化を図るとともに、大型化している外来船に対応するため、冷凍・冷蔵施設、製氷施設、-6m岸壁、-6m泊地等を整備する。

	○事業期間：H22～H30 ○事業主体：勝浦市、千葉県、勝浦漁業協同組合、新勝浦市漁業協同組合
事業内容	○冷凍・冷蔵施設の新設 ○製氷施設の新設 ○衛生管理型荷さばき所の改築（第1・2市場） ○ -6m耐震強化岸壁、-6m岸壁、-6m泊地、橋梁、臨港道路の整備 等

勝浦市地区 水産物流通機能高度化対策事業

第3種 勝浦漁港

◆位置図◆



◆計画方針◆

勝浦漁港を流通拠点漁港として漁港関連施設を整備することにより、漁業を中心とする地域振興を図る。

施策の目標

- ・流通機能の効率化・合理化
- ・価格形成機能の強化

◆計画内容◆

- ・事業期間：H22～H30
- ・事業主体：勝浦市 千葉県
勝浦漁業協同組合
新勝浦市漁業協同組合
- ・事業内容：冷凍冷蔵施設
製氷施設
第一・第二市場
(衛生管理型)
泊地浚渫(改良)
岸壁(改良)

◆現状と課題◆

- 勝浦漁港は、カツオ一本釣漁業の主要水揚げ港として外来船が多く入港し、県下第2位の水揚げ金額を誇っており、周辺の漁港では、沿岸漁業によりキンメダイや曳縄カツオ、イセエビ、アワビなども多く水揚げされている。
また、最近ではマグロ類やカジキ類の水揚げが増加し、新たな産地として注目されている。
- 地域内の水揚げ量は約2万トン、水揚げ金額は約91億円あるが、8市場に水揚げが分散していることから、市場の統合に向けて周辺漁港から勝浦漁港に水揚げ物を集約して市場取引を活性化するとともに、流通機能の効率化・合理化を図っているところである。
- 拠点となる勝浦漁港については、荷さばき所等の陸上施設の老朽化や能力不足が顕在化していることから、**食の安全・安心に対応した高度な品質衛生管理型施設に再整備するとともに、大型化している外来船の受入が可能となるよう、泊地・岸壁等の漁港整備を行う必要がある。**

